



ある5月の晴れた日に、いわき泉玉露の仮設に佐藤しげ子さんを訪問しました。5月20日にいわき文化交流館アリオスで藤富流紫扇会のおさらい会が開催されるにあたり、プログラムの中でしげ子さんの詩集「原発難民」「原発難民それから」を朗読することになり、その打ち合わせをするために伺いました。その日、仮設の一間は当日のプログラムの原稿や衣装でほぼ埋まっていました。しげ子さんは僅かな空間を指し、「そこでお稽古するのよ。」とコロコロと楽しそうに笑いました。「皆ちりぢりだから5.6人位しか集まらないと思っていたら、30人集まってね」忙しい時間でしたが、細い体のどこに?と思われるしげ子さんのエネルギーに圧倒されました。「悲しんでいてもしょうがないでしょう?前を向く事よ。」しげ子さんの詩の中の言葉が思い浮かびました。おさらい会の翌日、「先生おつかれでは?」と電話すると「全然!疲れてないわよ!」と元気な声が響きました。(青木)

おらほの自治会長

このコーナーでは、仮設・借り上げの自治会長さんのお話をご紹介します。

福島及び県北地区自治会長: 堀川潔さん



富岡では上郡山の清水地区に住んでいた、堀川さん。「俺はよろずや、器用貧乏なんだ」と笑つて話してくれました。会社員勤めを定年退職した後も、シルバーハウスセンターに登録し、送迎バスの運転手、富岡高校の寮の管理など、様々な仕事をされたとのことです。「みんながサロンに集まって笑顔で話しているのを見るのが好きなんだ」と話す堀川さん。借り上げ住宅に住む町民を一軒一軒まわっていたり、みんなで手を取り合うことを大切にしてサロンを守つていこうとする力強い姿が印象的でした。(吉田)※福島市や県北地方の方で自治会入会希望の方は、絆富岡さくらサロン(024-557-8780)まで、ご連絡ください。

みんなの広場

このコーナーでは、町民のみなさんの詩、俳句、短歌、写真、手作り品など、みなさんの作品を紹介します♪



作者: 安達太良(大玉村)仮設在住 北崎 郁子さん

作品名: 「森のわらじまつり」

愛らしい動物たちですね

おだがいさまセンター Q&A(その6)

みなさんからの「おだがいさまセンター」に関する“声”に、センター長の天野が答えます。

Q5

県外避難している人達にとって、「おだがいさまセンター」はどんな意味がある?

A5

「おだがいさまセンター」は、町民のみなさん自身が「生まれてよかったです」といえる暮らしを築き、希望を見出せる横の連絡を取り合えるような「富岡町民電話帳(仮)」の発行の他、生きがいづくり(染めもの織りもの等も)の作りの工房や、趣味の各種教室の展開など、情報の使命です。このセンターは、富岡町民全て(仮設住宅の方や借り上げ住宅の方、県外避難されている方、全て)のこれからの生活を築いていくために様々な支援を行います。具体的には、県内外の見守り活動に使えるタブレット端末を使ったシステムの構築や町民の方々同士が

※今回の内容に関して、以前取り上げた内容と重複している部分もあります。前号から全国配布になりましたので、改めて掲載させていただきました。その旨、ご了承下さい。みなさんの“声”を、下記の電話やFAX、ツイッターなどで「おだがいさまセンター」に是非お寄せ下さい。



おだがいさまセンター(富岡町生活復興支援センター)

運営 富岡町社会福祉協議会 場所 福島県郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅内)

電話 024-935-3332 FAX 024-935-3334

ブログ <http://odagaisama.com/>

制作 バズ・クリエイターズ

ツイッター <http://twitter.com/odagaisama>



いってやっぺみでやっぺ お知らせコーナー

7月13日(水)午後1時半~

開催場所: 絆富岡さくらサロン
内容: 放射線に関する勉強会
講師: 東京大学名誉教授 柴田徳思先生
問合せ: 絆富岡さくらサロン(024-557-8780)

7月24日(火) 子供向け: 午前10時~12時
大人向け: 午後1時~3時

開催場所: おだがいさまセンター
内容: 移動映画上映会

7月25日(水) 子供向け: 午前10時~12時
大人向け: 午後1時~3時

開催場所: 安達太良仮設(大玉村)第一集会所
内容: 移動映画上映会

7月26日(木) 午前10時~12時

開催場所: ふくしま女性支援センター
内容: 「スイーツデコ」ワークショップ
申し込み: ふくしま女性支援センター(024-983-8360)
受付時間: 10時~15時(平日)
*先着20名 材料費500円が掛かりますので

1週間前までに連絡お願いします。

*女性の方が参加対象になります

美味しい日本茶の入れ方

神奈川県の日本インストラクターの皆さんから「美味しいお茶の入れ方」を教えていただきましたので紹介します。



丁寧に淹れなお茶! お格別です

ワンポイントアドバイス

- ①お湯は必ず沸騰させてから70℃くらいに冷ます。
- ②急須は注ぐ時まで触らない。お湯を入れるのも静かに。
- ③お湯を入れてから1分30秒おく。
- ④茶碗に注ぐ時も急須は必要以上動かさず静かに。

*お茶葉は一人分3gが目安

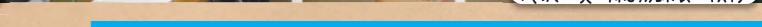
ちょっと手間をかけるだけで、いつも飲んでいるお茶がより美味しいになりますので是非、お試しください。

めてやっぺ!

第4回 富岡町被災者支援連絡協議会 開催!



富岡被災者支援連絡協議会の様子



滝沢一美町総務課長の挨拶

センター長コメント

被災者支援協議会が生まれた理由(わけ)

6月6日午前10時から、富田仮設住宅内川内村I棟集会所で第4回富岡被災者支援連絡協議会が開かれました。

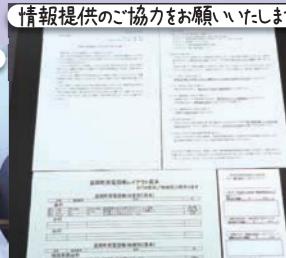
会長の滝沢一美町総務課長の挨拶に始まり、18団体26名の参加者によりそれぞれの立場から現状と課題が発表されました。

県社会福祉協議会、富岡町・三春町・郡山市・大玉村各社会福祉協議会、県被災地域復興課、富岡町災害対策本部、富岡町役場健康福祉課、福島県県中地方振興局県民環境部県民生活課、県中保健福祉事務所、NPO法人ふくしまNPOネットワーク(株)ワールドインテック、富岡町消防団、絆カフェ富岡、心のケアセンター、双葉警察署、郡山北警察署、富岡町生活復興支援おだがいさまセンターの各団体から出された課題は、今後本会開催時に、問題の出された団体が具体的に対策を提案し、それを全体で検討することが確認され、今年度初めて開かれた会は終了しました。

おだがいさまセンターからも、工房事業、畠隊、住民見守り事業、情報発信事業(災害FMの放送、情報誌でやっぺの発行)、いきがい作り企画などの事業についてセンター長から説明しました。次回は7月23日(月)午後1時半から、内容は「AED」の講習となります。「AED」講習は、現場で働く職員対象としたいと思っています。

に比較することはできませんが、過去の被災者が築き上げてきた経験を、今こそ私たちが活かす時が来ていると思っています。

今回の町民電話帳は、主旨を理解し、情報を提供してくださった方のみの内容で電話帳を作成します。一人でも多くのみなさんに情報を提供していただくことで、横のつながりをより強くすることができます。同封した資料をよくお読みになって、情報提供にご協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。



町との打ち合わせの様子



情報提供のご協力を頼ります

おだがいさま工房便り

6月14日(木)、15日(金)におだがいさまセンターにて、先日行われた説明会の参加者の中から希望者を対象に「染め」と「織り」の体験研修を行いました。「染め」の体験は、タマネギの皮を使って、コースターを染めました。「織り」の体験は裂織りといつて、布を裂いて横糸を作り、縦糸を織り機に張って、花瓶敷きを織りました。研修にはそれぞれ約20名と多くの受講者が集まつたので、各コースとも午前の部と午後の部の2回に分けて実施しました。染め、織りともに初体験の方が多く、研修開始時は不安そうに見受けられましたが、多くの方が「楽しかった」と笑顔でそれ自分で作った作品を大事そうに持つて帰られました。おだがいさま工房は7月7日に開所します。



上手岡仲町行政区仲町第一「一揆会」

ご近所の方々と再会する「一揆会」のみなさん(左、右上、右下)

「やっぱり、我が家の人たちは良いね~」笑顔いっぱいに話してくれました。6月9日(土)郡山市磐梯熱海にある「かんぽの宿」で上手岡仲町行政区仲町第一「一揆会」の集まりがあり、お邪魔してきました。震災後2回目の集まりだそうです。この日は、18名の方が参加し近所の皆さんと久しぶりの再会を喜びました。「一揆会」の仲間の皆さんも全国に散らばって避難をされています。この日は、千葉や仙台など県外から来た方も多く「みんなの顔見たくて飛んできた。」と、やはり笑顔で答えてくれました。今回の集まりは「花見」と題して今年の夜ノ森の桜の映像を流しながらの会になりました。綺麗に咲き誇る夜ノ森の桜、美味しい料理とお酒、そして、気心入れた仲間たち…。遠く離れてしまったけれど、心は一つに繋がっている。改めて強く感じた楽しい夜でした。

三春柴原萩久保応急仮設住宅でキャンドルナイト～望郷桜～

暗闇に幻想的に浮かび上がるキャンドル。「春に桜は富岡の町にトンネルつくります…」青谷明日香さんの歌声が

キャンドルナイト

響きます。6月11日に柴原萩久保応急仮設住宅で「LOVE FOR NIPPON」のご協力でキャンドルナイトが行われました。皆さんとの交流も大事にとお茶会や子供たちと一緒に鬼ごっこをして遊んでくれたり、笑い声が絶えない時間でした。日が暮れた頃からキャンドルが灯され、青谷明日香さん、小久保淳平さんのライブが始まりました。特に、遠藤富次郎会長が作詞した「望郷桜」が流れる大拍手が沸き上がり「本当にきれい」「感動です」皆さんがあながたの姿が印象的でした。また、子供たちもシャボン玉を用意して演出のお手伝いを一生懸命していました。皆で作り上げたすてきな時間でした。

1ヶ月遅れの「こどもの日」

6月9日(土)、いわき市の泉玉露応急仮設住宅で1ヶ月遅れの「こどもの日」と題して、カップケーキ作りやアイスクリームの飾りつけ、ゲーム大会が行われました。外は生憎の雨もようでしたが、仮設住宅や近隣の子どもたちが集まり、お菓子作りやゲームの時間を満喫しました。今後もこのようなイベントを企画していくことなので、次回の開催を楽しみにしてくださいね♪



夫婦で歌うギター弾き語りコンサート

6月16日(土)、大玉村の安達太良応急仮設住宅で「夫婦で歌うギター弾き語り」岩渕まこと・由美子コンサートが開催され、「相田みつを」さんの詩に曲をつけた歌も披露され、夫婦の息の合ったハーモニーや懐かしのメロディーを楽しみました。特別ゲストで鎌田会長が参加して「富岡わがまち」を合唱するシーンも見られるなど、会場全体が音楽を通して心温まるコンサートとなりました。



老人クラブとさくら保育所の子どもたちとの交流会

6月8日(金)、「おだがいさまセンター」で、公益財団法人福島県老人クラブ連合会主催による「バルーンDEあそぼ!」が開催されました。さくら保育施設の子どもたちも10名参加でおじいちゃん、おばあちゃんなど子どもたち40名の楽しい交流の時間をもちました。バルーンアートを始め、水晶を使ったパフォーマンスもあり、子どもだけではなく大人もくぎづけになって楽しんでいました。



おだがいさまファーム通信

畑隊いよいよ始動!! 6月16日(土)畑隊区画割会議を行いました。今回の会議は15名の参加となり、自分で選んだ畑ごとに集まり、自分の借りたい区画を話し合いました。それぞれの畑ごとにリーダーも決まり、農業の経験のある方に「この畑はどうなんだ?」「一人当たりの区画としてはどれくらいがいいのか?」など様々な質問している場面も見られました。収穫が楽しみであると、各々が話をしており畑隊としてのメンバー同士の交流がさらに深まりました。今後は、各畠のリーダーを軸に現地での区画割を行い、今月末から、それぞれ植え付けを開始する予定です。尚、畠隊に参加したいという方はおだがいさまセンターまでお問い合わせ下さい。

問い合わせ先: 024-935-3332(おだがいさまセンター 担当: 遠藤)



「とみおか子ども未来ネットワーク」活動中!

「とみおか子ども未来ネットワーク」は、富岡町の児童生 子ども未来ネットワーク事務局のみなさん

徒の保護者が中心となって平成24年2月11日に発足した市民団体です。今回の東日本大震災及び第一原子力発電所の事故により、いつ再生できるかわからない故郷を子供達に“つなぐ”意味を込めて命名しました。当ネットワークでは離れ離れになった町民がこれからどの様に進むべきか、そして将来の富岡町をいつしょに考え話し合う為に、県内外で交流事業や学習支援事業、タウンミーティング、セミナーの開催などを行っています。発足したばかりで思う様に出来ないところもありますが、是非一度、各地で行う事業に参加して頂ければと思います。いつしょに話しましょう。

文: とみおか子ども未来ネットワーク 代表 市村高志
「子ども未来ネットワーク」のみなさんが各地で行う事業を「みでやっぺ!」でも紹介していきたいと思っています。詳しい情報は、下記のURLにアクセスして下さい。 URL: <http://www.t-c-f.net>



五十鈴グランドゴルフクラブ

郡山市にある「五十鈴(いすゞ)グランドゴルフクラブ」のことを聞き、6月14日(木)さっそく見学に行きました。五十鈴クラブは現在会員60名で活動していますが、富岡町の住民の方が10名程参加しています。富岡町から参加している佐藤良二さんも「宗像恒男会長を始め、会員と一緒に参加できて楽しかった!」と話していました。みなさんすっかり溶け込んで楽しんでいました。会員は随時募集していますので参加したい方は是非一緒にやりましょう!

開催日時 毎週月・水・木・金9時集合 9時半スタート

開催場所 開成山公園サブグラウンド

問い合わせ先 024-922-1695(宗像恒男会長)